



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3097 URL <https://www.monogatari.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 央之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務・成長戦略担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	21,910	39.2	1,855	—	1,859	40.4	1,221	49.6
2022年6月期第1四半期	15,730	△5.3	△32	—	1,323	△25.9	816	△35.8

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 1,229百万円 (49.6%) 2022年6月期第1四半期 821百万円 (△33.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	100.87	100.60
2022年6月期第1四半期	67.65	66.95

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	46,863	23,765	50.0
2022年6月期	46,196	22,960	49.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 23,455百万円 2022年6月期 22,649百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	42,830	20.5	2,896	91.8	2,891	△25.6	1,731	△29.6	143.33
通期	87,658	19.6	6,259	117.8	6,250	1.3	3,802	2.0	314.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	12,112,512株	2022年6月期	12,112,512株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	3,762株	2022年6月期	2,715株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	12,109,438株	2022年6月期1Q	6,012,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による影響を受けたものの、8月中旬以降は新規感染者数が減少傾向に転じた結果、消費活動は緩やかながらも回復の兆しが見られました。その一方で、ウクライナ情勢の悪化や為替相場の円安進行等によるエネルギー資源や原材料の価格高騰を受けて、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活様式の変化により外食から中食・内食へのシフトが進展し、大人数での外食および夜間の外出行動の自粛などの影響を受けております。加えて、光熱費や仕入価格の高騰、人件費の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは中期経営計画「ビジョン2025」の実現に向けて、お客さまと従業員の安全・安心を最優先事項と捉え、感染症対策を徹底しながら店舗運営を継続してまいりました。また、当社グループの売上向上施策として、既存店舗の内外装の積極的な改装や看板商品の磨きこみ、サービス力の強化による他社との差別化を図ることで顧客体験価値の向上に努めました。さらに、『焼肉きんぐ』や『丸源ラーメン』のテレビCMの放映及びスマートフォンアプリ等を活用したデジタルマーケティングの強化を行いました。これらの施策の効果および前年同期においては行政による営業時間の短縮要請などがあったことにより、国内既存店（注）の当第1四半期連結累計期間における売上高は、直営店において前年同期比31.2%増、フランチャイズ店において前年同期比29.4%増となりました。

新業態への取り組みについては、『熟成醤油ラーメン きゃべとん』『牛たん大好き 焼肉はっぴい』『焼きたてのかるび』を軸に育成を進めました。加えて、中長期的な成長の実現に向けて、人財の採用や教育・研修による能力開発、IT化の推進、海外事業の強化等の基盤づくりを行いました。

店舗出店については、国内において郊外ロードサイドにある好立地への積極的な出店を進め、直営店5店、フランチャイズ2店、海外において2店の出店をした結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループの店舗数は632店舗（直営376店、フランチャイズ237店、海外19店）となりました（後掲表1）。

以上の結果により、売上高21,910百万円（前年同期比39.2%増）、営業利益1,855百万円（前年同期は32百万円の営業損失）、経常利益1,859百万円（前年同期比40.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,221百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

（注）国内既存店とは、新規開店より18カ月以上稼働している店舗と定義しております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

#### ①焼肉部門

当第1四半期連結累計期間中において、『焼肉きんぐ』は5店舗の出店（直営3店、フランチャイズ2店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は291店舗（直営178店、フランチャイズ113店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は11,834百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

#### ②ラーメン部門

当第1四半期連結累計期間中において、『丸源ラーメン』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は190店舗（直営91店、フランチャイズ99店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は3,385百万円（前年同期比48.3%増）となりました。

#### ③お好み焼部門

当第1四半期連結会計期間末におけるお好み焼部門の店舗数は24店舗（直営16店、フランチャイズ8店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は462百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

#### ④ゆず庵部門

当第1四半期連結会計期間末におけるゆず庵部門の店舗数は94店舗（直営77店、フランチャイズ17店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は3,446百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

#### ⑤専門店部門

当第1四半期連結累計期間中において、『牛たん大好き 焼肉はっぴい』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、専門店部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は14店舗（直営14店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は546百万円（前年同期比85.3%増）となりました。

## ⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟企業からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第1四半期連結累計期間中において、フランチャイズは2店舗の出店を実施しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は237店舗となりました。

以上の結果により、売上高は1,424百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

## ⑦その他部門

主に連結子会社である「物語（上海）企業管理有限公司」による取り組みであります。当第1四半期連結累計期間中において、2店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は19店舗となりました。

以上の結果により、売上高は810百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営（国内）	F C（国内）	海外	2022年9月末 店舗数
焼肉部門	178	113	—	291
ラーメン部門	91	99	—	190
お好み焼部門	16	8	—	24
ゆず庵部門	77	17	—	94
専門店部門	14	—	—	14
その他部門	—	—	19	19
合計	376	237	19	632

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,863百万円となり、前連結会計年度末と比較して667百万円の増加となりました。これは主に売掛金が467百万円、現金及び預金が317百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は23,098百万円となり、前連結会計年度末と比較して138百万円の減少となりました。これは主に買掛金が513百万円、賞与引当金が288百万円、長期借入金が540百万円増加した一方で、未払法人税等が802百万円、流動負債のその他に含まれている設備未払金が863百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は23,765百万円となり、前連結会計年度末と比較して805百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が797百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.0%（前連結会計年度末は49.0%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,464	8,782
売掛金	2,426	2,893
商品及び製品	487	578
原材料及び貯蔵品	96	98
その他	1,654	1,404
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,129	13,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,096	22,080
その他（純額）	4,590	4,534
有形固定資産合計	26,686	26,615
無形固定資産		
500	500	543
投資その他の資産		
差入保証金	4,540	4,635
その他	1,339	1,312
投資その他の資産合計	5,880	5,948
固定資産合計	33,067	33,107
資産合計	46,196	46,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,659	3,173
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,124	1,275
未払法人税等	1,514	711
賞与引当金	294	582
株主優待引当金	33	71
その他	5,702	4,824
流動負債合計	12,329	11,639
固定負債		
社債	5,864	5,867
長期借入金	2,600	3,141
退職給付に係る負債	612	626
資産除去債務	613	620
その他	1,215	1,203
固定負債合計	10,907	11,459
負債合計	23,236	23,098
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,863	2,863
資本剰余金	2,677	2,677
利益剰余金	17,157	17,955
自己株式	△4	△4
株主資本合計	22,694	23,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	10	10
退職給付に係る調整累計額	△58	△50
その他の包括利益累計額合計	△44	△37
新株予約権	310	310
純資産合計	22,960	23,765
負債純資産合計	46,196	46,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	15,730	21,910
売上原価	5,404	7,386
売上総利益	10,326	14,523
販売費及び一般管理費	10,358	12,668
営業利益又は営業損失(△)	△32	1,855
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
受取賃貸料	3	2
為替差益	10	—
協賛金収入	5	5
助成金収入	1,338	0
その他	12	10
営業外収益合計	1,374	23
営業外費用		
支払利息	9	5
賃貸収入原価	2	2
為替差損	—	0
株式報酬費用	—	6
その他	6	4
営業外費用合計	17	19
経常利益	1,323	1,859
特別損失		
固定資産除却損	21	2
減損損失	38	—
店舗閉鎖損失	0	26
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	—
特別損失合計	68	28
税金等調整前四半期純利益	1,255	1,830
法人税等	438	608
四半期純利益	816	1,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	816	1,221



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	816	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	4	0
退職給付に係る調整額	0	8
その他の包括利益合計	4	7
四半期包括利益	821	1,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	821	1,229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。